

スペイン語の変化動詞の使い分けについて (1)

阿 部 三 男

今回は 2014 年 3~4 月¹, 2014 年 8~9 月², 2015 年 3~4 月³, 2015 年 8~9 月⁴, 2016 年 2~3 月⁵ に調査した結果に基づいてスペイン語変化動詞の基本的使い分けの確認に努めたい。調査項目は毎回平均して 30 ぐらいになる⁶。数字の表記はほとんどこれまで通りで、詳細は注に示してある。

¹ アンケート回答者 (62 人) の国別内訳はスペイン人 58 人, アルゼンチン人 3 人 (スペイン生活 20 年), エクワドル人 1 人 (スペイン生活 25 年)。男女別では男性 36 人, 女性 26 人。職業別では学生 13 人, 会社員 43 人, 年金生活者 6 人。年齢分布は 20 歳未満 8 人, 20~29 歳 14 人, 30~39 歳 12 人, 40~49 歳 16 人, 50~59 歳 10 人, 60 歳以上 2 人。スペイン人 (58 人) の出身別内訳は, Almería 出身 7 人, Barcelona 4 人, Ciudad Real, La Coruña, Zamora 出身は各々 2 人 (計 6 人), Córdoba 出身 5 人, Cuenca 出身 7 人, Granada 出身 9 人, Madrid 出身 3 人, Toledo 出身 13 人, Albacete, Cáceres, Cantabria, Sevilla 出身は各々 1 人 (計 4 人)。アンケート調査ではこれまで通り, 同じ主格補語 (形容詞) を含む変化動詞 (ponerse, quedarse, hacerse, volverse, 場合によっては llegar a ser) だけ異なる文を提示し, その中から回答者が最も適切と思われるものを選ばせる方法を取っている。もし 2 つ以上選びたい場合は, その優先順位を ①, ②, ③, … のように付けさせた。調査に使った用例は筆者が作ったものや書籍やインターネットから適切と思われるものを選び, ネイティブ・スピーカーのチェックを受けている。なお, 本文中の用例の辞典は調査項目ごとに, 脚注に明示してある。

² アンケート回答者 (60 人) の国別内訳はスペイン人 58 人, コロンビア人 2 人 (スペイン生活 20 年と 28 年)。男女別では男性 27 人, 女性 33 人。職業別では学生 13 人, 会社員 39 人, 年金生活者 8 人。年齢分布は 20 歳未満 3 人, 20~29 歳 20 人, 30~39 歳 12 人, 40~49 歳 14 人, 50~59 歳 7 人, 60 歳以上 4 人。スペイン人 (58 人) の出身別内訳は, Albacete 出身 16 人, Alicante, Badajo, Ciudad Real 出身は各々 2 人 (計 6 人), Barcelona 出身 4 人, Madrid 出身 5 人, Palencia, Salamanca 出身は各々 3 人 (計 6 人), Valladolid 出身 13 人, Córdoba, Las Palmas, Málaga, Murcia, Sevilla, Soria, Valencia, Zamora 出身は各々 1 人 (計 8 人)。

³ アンケート回答者 (79 人) の国別内訳はスペイン人 73 人, アルゼンチン人 1 人 (留学中), ニカラグア人 1 人 (スペイン生活 13 年), ルーマニア人 3 人 (3 人のスペイン生活は各々 18 年, 15 年, 8 年), ドミニカ人 1 人 (スペイン生活 20 年)。男女別では

1. はじめに

これまでの調査では、変化動詞の使い分けはかなり複雑で微妙な部分だと正直に答える人もいたが、多くの人は自信家で全然問題ないと言っている。回答者の中には大学院でスペイン語学を専攻した人とか、あるいは小学校の教員をしているとか、あるいは大学でスペイン語学を教えている人もいた。しかし、語学教育に携わっている人たちの回答には期待を裏切られることも度々あった。またこの10年間スペインで出版されたスペイン語学習書の中にもようやく変化動詞を扱う本も見られるようになったが、その説明もまぢまぢで全体的にまだまだ分かりにくい。それゆえ、専門家の言うことだけでなく、一般庶民がどう使い分けているかを優先したほうがいいのではないかと考えるようになった。言語は生き物で、常に変化に晒されており、文法書などに書かれているように固定化されているわけではない。

-
- 男性 39 人, 女性 40 人。職業別では学生 22 人, 会社員 49 人, 年金生活者 5 人, 医師, 弁護士, 小学校教員は各々 1 人 (計 3 人)。年齢分布は 20 歳未満 10 人, 20 ~ 29 歳 21 人, 30 ~ 39 歳 16 人, 40 ~ 49 歳 19 人, 50 ~ 59 歳 7 人, 60 歳以上 6 人。スペイン人 (73 人) の出身別内訳は, Albacete 出身 4 人, Alicante 出身 7 人, Almería, Madrid 出身は各々 6 人 (計 12 人), Barcelona 出身 7 人, Cáceres 出身 9 人, Castellón, Cuenca, Málaga, Tarragona 出身は各々 2 人 (計 8 人), Jaén 出身 3 人, Murcia 出身 5 人, Toledo 出身 10 人, Valencia 出身 6 人, Navarra, Vizcaya 出身は各々 1 人 (計 2 人)。
- ⁴ アンケート回答者は全員スペイン人で計 85 人。男女別では男性 31 人, 女性 54 人。職業別では学生 28 人, 会社員 46 人, 年金生活者 11 人。年齢分布は 20 歳未満 3 人, 20 ~ 29 歳 31 人, 30 ~ 39 歳 17 人, 40 ~ 49 歳 17 人, 50 ~ 59 歳 14 人, 60 歳以上 3 人。スペイン人 (85 人) の出身別内訳は, Albacete, Alicante, Islas Baleares, Murcia 出身は各々 2 人 (計 8 人), Asturias 出身 5 人, Barcelona 出身 4 人, Cádiz, Ciudad Real, Córdoba, Guipuzcoa, Palencia, Sevilla, Vizcaya 出身は各々 1 人 (計 7 人), Girona 出身 6 人, León 7 人, Lugo 4 人, Madrid 出身 13 人, Pontevedra 出身 4 人, Salamanca 出身 3 人, Segovia 出身 3 人, Valladolid 出身 9 人, Zamora 出身 12 人。
- ⁵ アンケート回答者は全員スペイン人で計 124 人。男女別では男性 56 人, 女性 68 人。職業別では学生 47 人, 会社員 72 人, 年金生活者 5 人。年齢分布は 20 歳未満 15 人, 20 ~ 29 歳 46 人, 30 ~ 39 歳 23 人, 40 ~ 49 歳 23 人, 50 ~ 59 歳 12 人, 60 歳以上 5 人。スペイン人 (124 人) の出身別の内訳は, Albacete, Asturias, Badajoz, Córdoba 出身は各々 2 人 (計 8 人), Almería 出身 4 人, Barcelona, Lleida 出身は各々 6 人 (計 12 人), Cádiz 出身 3 人, Huelva 出身 21 人, Madrid 出身 9 人, Murcia 出身 17 人, Sevilla 出身 43 人, Cáceres, Canarias, Granada, Guadalajara, Pontevedra, Santa Cruz de Tenerife, Vizcaya 出身は各々 1 人 (計 7 人)。
- ⁶ なお, 本稿ではこれらの調査以前の数値も比較のため再度掲載している場合もある。

2. 先行研究

先ず変化動詞の使い分けの統一的説明として一番有効と思われるのが、繫辞 *ser/estar* が主格補語として従える形容詞との関係である。勿論、この判断基準ですべてがきれいに説明できるわけではないが、一つの有効な尺度になっている。*ser* が従える形容詞(句)の意味内容には「永続的・半永久的性質」が、*estar* が従える形容詞(句)の意味内容には「一時的状態」や「変化の結果」が内包されており、*hacerse, volverse* が選択される主格補語は *ser* のそれに一致し、*ponerse, quedarse* に後続する主格補語は *estar* のそれに一致する⁷。

- (1) El año pasado mi abuela () **muy enferma** y tuvieron que ingresarla en el hospital.⁸ **se puso** 59(59)⁹, **se quedó** 5(1),
se hizo 3(0), **se volvió** 0 (0). (2014.8)¹⁰
- (2) Hoy no ha podido venir porque () **malo**; de pequeño siempre estaba malo.¹¹ **se ha puesto** 60(60), **se ha quedado** 1(0),
se ha hecho 0(0), **se ha vuelto** 1(0) (2014.8)
- (3) Era enfermizo, pero () **bueno** después de su estancia en el balneario.¹²
se puso 59(58), **se quedó** 5(1),

⁷ 詳細は Navas Ruiz, R. (1963, 1977), Porroche Ballesteros, M. (1988), 阿部 (2004), 阿部 (2008)。

⁸ Tarricone, L., Giol, N., y González-Seara, C.(2012), p.296 の二者択一問題 (*se puso/se volvió*) では当然のことながら *se puso* を正解にしている。

⁹ これまで通り、最初の数字は優先順位に関係なく使用可能として選んだ人の合計であり、後続する () 内の数字は1つだけ選んだ人と、2つ以上選んだ中で優先順位を1位にした人の合計である。1つの質問項目で優先順位をつけることができなくて1位として2つ以上選んだ場合もこれに加えている。なお、質問項目によっては適切な答えが見当たらないとして空欄にした人もいるので、各調査年度の調査人数と合わないことはよくある。

¹⁰ () 内の数字はスペース節約のため実際の調査期間(2か月)のうち、調査日数の多い月だけを示している。(7)以降のアンケート集計結果を示す図表の上の年月の場合も同じである。

¹¹ *Diccionario manual de la lengua española, Vox (Larousse, 2007)* では *se ha puesto* を使っている。

¹² Gutiérrez Araus, M. L. (2007), p.113 にある用例 *Era enfermizo, pero se puso bueno después de su estancia en el balneario.* を使い、4つの選択肢(変化動詞)から適切な回答を得るようにしてある。

se hizo 4(0), **se volvió** 7(1). (2014.3)

調査項目 (1) の **enferma** 「病気の」と (2) の **malo** 「病気の」はともに一時的な状態や変化の結果を表わし、繫辞としては **estar** を選び、これらの形容詞の反意語である (3) の **bueno** 「健康な、元気な」もやはり一時的な状態や変化の結果を表わし、繫辞として **estar** を選ぶ。従って、ここでは **ponerse** か **quedarse** と結びつくはずであるが、(1)(2)(3) とも **ponerse** を選択している人が圧倒的に多い。多くの辞典でもまるで成句であるかのように **ponerse malo**, **ponerse enfermo** 「病気になる」、**ponerse bueno** 「健康になる」と記述している。ところが、(4) の **rendida** 「疲れ切った」と (5) の **nueva** 「疲れがとれた、生き返ったような」も一時的状態や変化の結果を表わし、繫辞は当然 **estar** で、変化動詞はやはり **ponerse** か **quedarse** のいずれかになる。しかし、ここでは **quedarse** を選んだ人が圧倒的に多い。**rendida** は疲れて動くのもままならず、意味的に **quedarse** が内包する動きの「停止・欠如」に通じており納得できるが、その逆の **nueva** は動きの「停止・欠如」とは無関係なはずなのに、なぜか **quedarse** (como) **nuevo** のように成句的に **quedarse** が選ばれている。

(4) ... cuando mi perrita () **completamente rendida** se hace pipi sin darse cuenta, en cualquier lugar donde este durmiendo... y cuando se levanta se levanta asustada y mojada...¹³

se queda 59(59), **se pone** 5(1),

se hace 5(1), **se vuelve** 7(1) (2014.3)

(5) Estaba agotada pero, después del baño, () **nueva**.¹⁴

me he quedado 62(62), **me he puesto** 6(0),

me he hecho 3(0), **me he vuelto** 5(0) (2014.3)

¹³ <http://es.answers.yahoo.com/question/index?qid=20101115163912AAAtclXR> 2014.3: ... cuando se queda completamente rendida se hace pipi sin darse cuenta, en cualquier lugar donde este durmiendo... y cuando se levanta se levanta asustada y mojada... と載っていたので、筆者の判断で主語として *mi perrita* を補っている。

¹⁴ Diccionario SALAMANCA de la lengua española (Santillana, 1996), p.1092 では Estaba agotada pero, después del baño, **me he quedado nueva**. となっているのを利用した。

次の(6)(7)で扱う **bueno** と(8)で扱う **malo** は、(2)(3)で使われているものと同じ形容詞であるが、意味内容が異なる。(6)(7)の **bueno** 「よい, 善良な」, (8)の **malo** 「悪い」は永続的な性質・性格を表わす形容詞で、繫辞 **ser** と一緒に使われる。従って、変化動詞としては **hacerse** と **volverse** と共起する。このことは(6)(7)(8)で **hacerse** と **volverse** を選択した人の数が突出していることから明らかである。なお、**hacerse** や **volverse** との使い分けを見るために、(6)(7)(8)では同じ変化動詞に属する **llegar a ser** を選択肢に入れてみると、結構多くの人がこの動詞を選択している。とりわけ(8)で **volverse** を第一優先にした人(252人)が極めて多い点については後で触れるが、いずれにせよこれら3つの変化動詞は明らかに **ponerse**, **quedarse** と一線を描していることがよく分かる。

(6) Basagoiti: « Quienes crean que los etarras () **buenos** son imbéciles »¹⁵
se han hecho 46(25), **se han vuelto** 106(100),
se han puesto 3(1), **se han quedado** 1(0)
han llegado a ser 26(11). (2016.3)

(7) ... el hombre ni es bueno ni malo por naturaleza; () **moralmente bueno o valioso** cuando se somete a la idea del deber, al autoesfuerzo por su propia realización, a la conquista de sí mismo, que es la auténtica autonomía y libertad del hombre; ...¹⁶

	2015.8	2016.3
se hace	53(41)	72(54)
se vuelve	63(49)	83(53)
se pone	0(0)	5(4)
se queda	2(0)	3(0)
llega a ser	×	69(36)

¹⁵ <http://www.que.es/ultimas-noticias/espana/201012162339-basagoiti-quienes-crean-etarras-vuelto-abc.html> では **se han vuelto** が使われている。2016.2

¹⁶ <https://books.google.co.jp/books?id> 2015.7

- (8) Creo que los delincuentes empiezan como chicos buenos, pero como consecuencia de las malas decisiones que van tomando a través del tiempo, sin querer () malos.¹⁷

	2014.8	2015.3	2015.8	2016.3	合計
se hacen	28(18)	32(12)	31(18)	52(22)	143(70)
se vuelven	50(39)	69(61)	68(59)	106(93)	293(252)
se quedan	2(0)	0(0)	0(0)	1(0)	3(0)
se ponen	0(0)	3(0)	0(0)	2(0)	5(0)
llegan a ser	25(9)	38(10)	34(14)	62(27)	159(60)

hacerse, volverse, llegar a ser の使い分けについては後で述べるとして、一応繫辞 (ser, estar) との関係は成立していると言える。(6)(7)(8) のような形容詞の場合、授業では quedarse, ponerse を使わないように教えるべきだろう。

3. hacerse versus volverse

一般に hacerse は「変化のプロセス」を強調し、主語の積極的参加によって徐々に変化していく様子を表わし、その変化の過程で人の意志・努力が窺われるような場合に用いられると言われている。一方、 volverse は「ある特性から全く異なる別の特性への変化」を表わすと言われている。この種の調査を始めた 14 年前、スペインのサラマンカ大学短期語学研修で学生を引率した際、サラマンカ大学国際コースでスペイン語を教えている先生方 (7 人) と事務員・図書館員 (8 人) の計 15 人に変化動詞に関するアンケート調査を実施したところ、(9) に見られるように一生懸命働いたので「金持ちになった」では全員が hacerse を選んだのに対し、(10) の宝くじに当たって「金持ちになった」では 5 人が volverse に乗り換えている。

¹⁷ Eddington, D. (2002), p.927 の調査項目の一つで、本稿では変化動詞の選択肢を 7 つから 4 つに減らしている。

- (9) El vecino () **rico**, porque ha trabajado mucho.¹⁸

se ha hecho 15, **se ha vuelto** 0 (2003.3)

- (10) Le tocó la lotería, () **rico** y se ha olvidado de nosotros.¹⁹

se ha hecho 10, **se ha vuelto** 5 (2003.3)

以前は *volverse* に気を取られ、*hacerse* の使い方を見逃しがちになっていた。その後、時には *llegar a ser* も加えて、*rico*, *millonario*, *famoso* を含む用例で「金持ちになる」「億万長者になる」「有名になる」場合を調べてみた。

- (11) Le tocó la lotería, () **rico** y se ha olvidado de nosotros.²⁰

se ha hecho 105(87), **se ha vuelto** 84(42),

se ha quedado 3(0), **se ha puesto** 9(4),

ha llegado a ser 25(6) (2016.3)

- (12) Jugando a la lotería, () **millonario**.²¹

	2014.3 /	2014.8	2015.3	2015.8	合計 ²²
se ha hecho	53(48) /	50(47)	67(60)	74(71)	191(178)
se ha vuelto	32(15) /	29(14)	33(12)	31(11)	93(37)
se ha quedado	5(1) /	2(0)	2(0)	1(0)	5(0)
se ha puesto	5(0) /	3(0)	3(2)	1(0)	7(2)
ha llegado a ser	× /	29(7)	31(6)	40(15)	100(28)

¹⁸ Porroche Ballesteros, M.(1988), p.183 の二者択一問題で *volverse* か *hacerse* のいずれかを選ばせ、活用させる問題で、ここの正解は一応 **se ha hecho** になっている。

¹⁹ これも注 18 と同じところに出ている練習問題で、*volverse* か *hacerse* のいずれかを選ばせるが、正解は **se ha vuelto** になっている。調査した人数が少なくて気になっていたのも、その後調査人数を増やしてきた。

²⁰ (10) と同じ文章だが、筆者は選択肢を勝手に増やしてみた。

²¹ Tarricone, L., Giol, N., y González-Seara, C.(2012), p.294 では「無意志で早くで努力しないでの変化」に用いられる *volverse* の用例として、*Ganando a la lotería*, **se ha vuelto millonario**. をアンケート調査に使っていたが、*Ganando* よりも *Jugando* の方が適切だという人も何人か現れたので、途中から本稿のように変えてみた。

²² この合計は、スラッシュ / より右の年(ここでは 2014.8, 2015.3, 2015.8)にこの変化動詞を選んだ人の合計で、スラッシュ / より左(2014.3)の人数を含んでいない。従って、スラッシュ / より左の数値にも注目して欲しい。表の中に×印があるところは調査していないことを示している。

(10) と (11) はまったく同じ例で, (11) では選択肢として *hacerse* より長いプロセスが想定される *llegar a ser* を加え, 13 年後に調査人数を増やして調べてみたところ, *hacerse* と *volverse* を優先させた比率はほぼ同じで, *llegar a ser* を選んだ人は, (13)(14) の場合と比べると明らかに少ない。確かに (13) の「何も無い所から始まり努力のお蔭で億万長者になった」ということから *hacerse* が選ばれており, 「億万長者になる」プロセスでは *hacerse* と同じくらい, あるいはそれ以上に時間がかかっていることが想像できるので *llegar a ser* が選ばれているのもよく理解できる。*llegar a ser* は「持続性のある漸次的変化 (*cambio duradero, gradual*)」を表わすという点では *hacerse* に通じているが, 「持続性がより長い (*una mayor duración*)」という点では *hacerse* と異なると言われている。

(13) *Ha empezado de la nada y () millonario gracias a sus esfuerzos.*²³

	2014.8	2015.3	2015.8	2016.3	合計
se ha hecho	40(27)	59(32)	61(35)	103(79)	263(173)
se ha vuelto	23(7)	25(6)	23(7)	77(40)	148(60)
se ha quedado	1(0)	1(0)	1(0)	1(0)	4(0)
se ha puesto	3(1)	2(1)	1(0)	9(1)	15(3)
ha llegado a ser	49(32)	63(44)	74(56)	74(31)	260(163)

(14) *Trabajando toda la vida, () millonario.*²⁴

	2014.8	2015.3	2015.8	2016.3	合計
se ha hecho	44(32)	58(39)	55(36)	×	157(107)
se ha vuelto	25(4)	25(8)	21(6)	×	71(18)
se ha quedado	1(0)	2(1)	1(0)	×	4(1)
se ha puesto	2(1)	1(0)	2(0)	×	5(1)
ha llegado a ser	46(30)	56(34)	66(55)	×	168(119)

²³ Tarricone, L., Giol, N., y González-Seara, C.(2012), p.293 では *llegar a ser* の用例としてこの文 *Ha empezado de la nada y ha llegado a ser millonario gracias a sus esfuerzos.* を載せている。

²⁴ Tarricone, L., Giol, N., y González-Seara, C.(2012), p.294 でも (13) と同様, *llegar a ser* の用例として載せている。

しかし、この長さは主観的なもので、話者がどちらを選択するかは非常に微妙な問題と言えよう。(14)の「一生 (*toda la vida*) 働いて億万長者になった」という場合には、そのプロセスが長い分だけ *llegar a ser* の人数が僅かではあるが *hacerse* の人数よりも多くなっているのかもしれない。以上の調査から、「変化のプロセスを重視する」という点では *hacerse* は *llegar a ser* に近いが、(10)(11)(12)の「宝くじ (*lotería*)」、(15)の「相続 (*herencia*)」、(16)の「株式 (*bolsa*) への投資」などによって自分の意志とは無関係に、時には早く (*rápido*) 変化が生じる場合は *volverse* を選ぶ人が少し増えている。ただし、「株式への投資」の場合 *llegar a ser* の方を選んだ人が *volverse* より多いのは、株を買ってすぐ売るのではなく値上がりを待って少し長く持つという意識が影響しているとは考えられないだろうか。相続によって、ある時突然お金持ちになるとはちょっと違うような気がする。ただ、(12)の宝くじを買って億万長者になったという場合 *se ha vuelto* より *ha llegado a ser* を選んだ人が多いというのは予想外で、恐らく長年宝くじを買ってきてようやく当たったと解釈した人たちであろうと考えられる。勿論、*hacerse*, *volverse*, *llegar a ser* の意味的中和²⁵も考えられるが、ここでも *ponerse*, *quedarse* とは確実に一線を画していることだけは数値の上から明らかである。

(15) () *rico gracias a una herencia*.²⁶

	2014.8	2015.3	2015.8	2016.3	合計
Se ha hecho	52(48)	70(60)	77(68)	110(87)	309(263)
Se ha vuelto	27(12)	35(12)	32(18)	69(24)	163(66)
Se ha quedado	2(0)	2(0)	1(0)	4(0)	9(0)
Se ha puesto	2(0)	5(2)	1(1)	11(7)	19(10)
Ha llegado a ser	22(4)	38(13)	37(11)	69(32)	166(60)

²⁵ 阿部 (2011a), pp.63-65

²⁶ Tarricone, L., Giol, N., y González-Seara, C.(2012), p.293 ではこの文 *Se ha vuelto rico gracias a una herencia*. を *volverse* の用例として載せている。

(16) Invertiendo su dinero en la Bolsa, () **millonario**.²⁷

	2014.3/	2014.8	2015.3	2015.8	2016.3	合計
se ha hecho	57(51)/	53(51)	69(64)	74(64)	105(91)	301(270)
se ha vuelto	35(15)/	26(5)	38(7)	25(13)	63(22)	152(47)
se ha quedado	3(1) /	1(0)	1(1)	1(0)	1(1)	4(2)
se ha puesto	7(0) /	2(0)	1(0)	2(0)	7(1)	12(1)
ha llegado a ser	× /	36(12)	43(12)	44(18)	79(34)	202(76)

次に、これと同じ意味領域に属する形容詞 famoso 「有名な」の場合を考えてみる。hacerse と llegar a ser は、(17) のゴッホの画法に関する努力の成果を反映する用例に使われるのは非常によく分かるが (18) のスキャンダルの場合にもよく選ばれているというのは、rico, millonario の場合と同様、この2つの変化動詞、とりわけ hacerse の使用範囲が広いことを裏付けている。これらの形容詞は意味的に類似しており、Tarricone, L., Giol, N., y González-Seara, C. (2012), p.293 によれば、社会経済的地位 (condición socioeconómica) を示すものと分類され、rico, millonario の場合と同様、変化動詞の選択肢に llegar a ser を加えてみると第一優先の数値こそ及ばないものの、結構多くの人がある使用を容認している人数であり、volverse との違いを主張しているように思える。

(17) Vincent van Gogh () **famoso** por el uso de la luz y el color.²⁸

	2014.3	2014.8 /	2015.3	2015.8	合計 ²⁹
se hizo	61(59)	61(60) /	75(60)	70(60)	122(119) / 145(120)
se volvió	11(2)	14(1) /	18(2)	11(2)	25(3) / 29(4)
se quedó	4(0)	1(0) /	3(0)	0(0)	5(0) / 3(0)
se puso	4(0)	2(0) /	3(0)	0(0)	6(0) / 3(0)
llegó a ser	×	×	61(22)	60(34)	×

²⁷ Tarricone, L., Giol, N., y González-Seara, C.(2012), p.294 では **se ha hecho millonario** を使っている。

²⁸ <http://www.holland.com/es/turista/articulo/vincent-van-gogh-16.htm> では *Vincent van Gogh se hizo famoso por el uso de la luz y el color.* のように使っていたのを利用した。2014.3

²⁹ この調査項目ではスラッシュより左の年(ここでは2014.3, 2014.8)には **llegó a ser** を選択肢に入れていなかったため、スラッシュの左と右の年度の人数を別々に合計している。

(18) Annalisa Santi () **muy famosa en Argentina por sus escándalos.**³⁰

	2014.8 /	2015.3	2015.8	合計
se ha hecho	52(48) /	76(73)	80(73)	156(146)
se ha vuelto	23(6) /	42(9)	30(13)	72(22)
se ha quedado	0(0) /	3(1)	0(0)	3(1)
se ha puesto	1(1) /	2(0)	1(1)	3(1)
ha llegado a ser	37(16) /	×	×	×

(19) Fotos: Patinadora () **famosa por desnudarse.**³¹

se hizo 59(57), **se volvió** 15(4),

se quedó 4(1), **se puso** 4(0) (2014.3)

反対に、この **llegar a ser** を選択肢に入れない (18) では **volverse** を選んだ人数が増えている。形容詞 **famoso** と **hacerse** の結び付きが強いことは明白だが、ここでもやはり意外なのが、**llegar a ser** の数値である。この変化動詞についてはさらに調べて見る必要がある。なお、**hacerse** と **volverse** を同時に選んだ人に、使い分けの根拠を訊ねても多くの人は意味の違いはないと述べている。ところが、「勢力が強い、権力のある; 富裕で影響力のある」という意味の (20) **poderoso** の場合 **hacerse** よりも **volverse** の使用を最優先する人が少し多くなっているが、数値的にはほぼ同じように使えるようである。

(20) El capo () **demasiado poderoso para atraparlo.**³²

se había hecho 47(28), **se había vuelto** 47(38),

³⁰ <http://www.diez.hn/internacionales/722097-99/italiana-insulta-a-costa-rica-luego-de-su-triunfo-en-el-mundial> では **se ha vuelto** を使っている。2014.7 この調査項目ではスラッシュの右の年 (2015.3, 2015.8) には **llegó a ser** を選択肢に入れていなかったの、この合計はスラッシュの右の年度だけの合計である。

³¹ <http://www.elgrafico.mx/deportes/25-11-2013/patinadora-se-volvio-famosa-por-desnudarse> モスクワ出身の女性フィギュアスケートアイスダンス選手だったアンナ・セメノビッチ (Anna Semenovich) がスケート靴をランジェリーに替えて女優として名声を得たことを伝える報道の見出しの中で、*Fotos: Patidora se volvió famosa por desnudarse.* のように使われた文をここで使ってみた。

³² <http://enfoqueinformativo.mx/nuevo/index.php/welcome/item/5939-asi-detuvieron-a-el-chapo> では、**se había vuelto** が使われている。2014.2

se había quedado 5(0), **se había puesto** 5(0) (2014.3)

同じ「社会経済的地位」を表わす形容詞でも「金持ちになる」とは反対方向への変化を示す(21)の「貧乏になる」場合、これまで見てきた数値とは異なり、*volverse* を選ぶ人がかなり増えていることが分かる。

(21) Para el pobre es difícil mejorar; se queda pobre o () **más pobre** porque tiene muchos niños.³³

	2013.8 /	2015.3	2015.8	2016.3	合計
se hace	43(37) /	56(37)	53(44)	82(53)	191(134)
se vuelve	29(19) /	55(40)	51(37)	91(67)	197(144)
se queda	7(5) /	17(5)	7(2)	26(12)	50(19)
se pone	1(0) /	2(0)	4(2)	9(2)	15(4)

(22) El Padre Ignacio Larrañaga habla en su libro: el pobre de Nazaret, de Jesús, siendo tan rico () **pobre** para hacer rico al hombre.³⁴

	2015.3	2015.8	2016.3	合計
se hace	37(25)	45(35)	71(54)	153(114)
se vuelve	56(48)	54(46)	71(55)	181(149)
se queda	24(8)	9(6)	37(22)	70(36)
se pone	3(0)	1(0)	4(1)	8(1)

特に(22)で **rico** から正反対の **pobre** に変化している場合 *volverse* を選択した人が多くなっている。*volverse* の選択理由として多くの人は「以前そ

³³ <http://siteresources.worldbank.org/INTNICASRAGUASPANISH/Resources/BP2-VocesNicaragua.pdf> では、**se hace** が使われている。2013.7 阿部(2014), p.4 参照。阿部(2014)の注12, 注13でも指摘しているように、2011年8~9月、2012年2~3月、2012年8~9月、2013年3~4月にこれと同じ文で行なった調査でも、**se vuelve** を選んだ人はやはり **se hace** を選んだ人と同じくらい多かった。しかし、*El vecino () rico, porque ha trabajado mucho.* のように一生懸命働いたので金持ちになった場合には、**se ha hecho** を選んだ人が圧倒的に多かった。

³⁴ <http://www.evangelizafuerte.mx/2013/12/60998/> では **se hace** が使われている。

³⁵ 阿部(2014), pp.10~12; Castro Viudez, R.(2012); Moreno, C., Hernández, C., y Kondo, C. M.(2007)

³⁶ 阿部(2011b)

うではなかった (*no lo era*)」という文脈で「ある特性から全く異なる別の特性への変化」を示しているからと述べている³⁵。(22)の場合、以前あれほど裕福だったのに貧しくなったということを根拠に *volverse* を選んだ人がいたのも確かであり、人によって選択理由が異なるのも事実である。しかし(21)の場合必ずしもこのケースではなく、(21)(22)の統一的説明としては *volverse* に特徴的な「マイナス・イメージ³⁶」を優先すべきだろうと思われる。

(23) Cuando () **viejos**, el pelo se pone canoso.³⁷

	2015.8	2016.3	合計
nos hacemos	80(80)	119(116)	199(196)
nos volvemos	30(12)	54(19)	84(31)
nos quedamos	2(0)	8(0)	10(0)
nos ponemos	3(0)	17(6)	20(6)

(24) El hombre () **viejo** muy pronto y **sabio** demasiado tarde.

	2015.3 /	2015.8	2016.3	合計
se hace	68(62) /	72(72)	110(102)	182(174)
se vuelve	36(16) /	28(12)	51(23)	79(35)
se queda	1(1) /	1(0)	3(0)	4(0)
se pone	11(1) /	5(3)	20(6)	25(9)

hacerse の典型的な用法としてよく取り上げられる「人間の成長過程」を示す場合にも同じ傾向が見られる。(23)(24)の *viejo* は *mayor* に代表される「人間の成長過程」を示すもので、*hacerse* を選んだ人が圧倒的に多い。*hacerse de día*, *hacerse de noche*, *hacerse tarde* など時間の推移表現もこの種の変化と

³⁷ Diccionario didáctico de español ELEMENTAL (Ediciones SM, 1994), p.182 では、*nos hacemos* が使われている。なお、この文後半で使われている *se pone canoso* 「白髪になる」の部分は明らかに後で扱う色の変化に属している。Comienza a *ponérselo el pelo*. 「彼の髪には白髪が生えはじめている」(クラウン西和辞典,三省堂,2005,p.312)。また、Con el paso de los años y las preocupaciones, el pelo *se le había vuelto canoso*. (Diccionario Estudio Salamanca MAIOR, Ediciones OCTAEDRO, S.L., 2007, p.181) に見られるように *volverse* も使える。

言える。勿論 *viejo* は一般的に繋辞なら *ser* が用いられるという点で *volverse* の選択も容認できる。ところが、(25) のように「人間の成長過程」とは逆の方向に進む「若返る」場合 *volverse* が逆転して *hacerse* を圧倒している。「若返る」は「人間の成長過程」とは逆方向への変化であり、(8) の「悪くなる」や (21)(22) の「貧乏になる」と同様「マイナス・イメージ」の変化という統一的説明を優先すべきである。

(25) Los nuevos habitantes de la isla no conocían los poderes mágicos que tenía el agua que bebían, hasta que un día se dieron cuenta de que, con el paso de los años, ellos () **más jóvenes**.³⁸

	2014.8	2015.3	2015.8	2016.3	合計
se habían hecho	30(20)	36(15)	35(19)	53(28)	154(82)
se habían vuelto	48(36)	67(61)	68(61)	106(101)	289(259)
se habían quedado	1(0)	4(2)	6(4)	6(0)	17(6)
se habían puesto	1(0)	10(1)	8(3)	17(5)	36(9)
habían llegado a ser	17(5)	19(5)	15(7)	26(8)	77(25)

ただ、変化動詞の使い分けに *volver* 「帰る」の意味の影響を挙げて「若返る」に相応しいと回答した人もいて、同じ変化動詞を選んでも人によってその理由は異なり、選択に際し色々な要因が働いていることも無視できない。

4. *ponerse* versus *quedarse*

ここでは *estar* と結びつく形容詞が変化動詞 *ponerse/quedarse* と使われる例を見ることにする。これらの変化動詞は意外と厄介である。

(26) () **serio** cuando le dieron el resultado del examen.³⁹

³⁸ Eddington, D. (2002), p.927 の調査項目の1つで、7つあった選択肢を、本稿では5つに減らして調べて見た。

³⁹ これは現代スペイン語辞典(白水社,1990)の *serio* の用例(p.1025)として使われているもので、そこでは「試験の結果を知らされて、彼はまじめ[深刻]な表情になった」という訳で *quedarse* が使われている。しかし、Diccionario del estudiante (RAE, 2005)の *serio* の用例(p.1269)では *ponerse* が使われている: *Tuve que ponerme serio para que me atendieran.*

	2014.8	2015.3	2015.8	2016.3	合計
Se puso	52(39)	68(55)	71(66)	117(109)	308(269)
Se quedó	44(28)	50(24)	50(25)	72(25)	216(102)
Se volvió	3(1)	9(1)	7(4)	18(1)	37(7)
Se hizo	1(0)	2(1)	1(0)	6(1)	10(2)

(27) () **más tranquilo** cuando pudo oír su voz a través del teléfono.⁴⁰

	2014.8	1015.3	2015.8	2016.3	合計
Se puso	17(7)	31(11)	18(10)	41(10)	107(38)
Se quedó	60(55)	75(66)	84(81)	120(118)	339(320)
Se volvió	4(1)	8(2)	6(1)	12(1)	30(5)
Se hizo	0(0)	2(1)	1(0)	3(0)	6(1)

はじめに、共に心理的な動きを意味する (26) の「真面目 [深刻] な表情になつた」と (27) の「安心した」という意味から考えると、繫辞としては「一時的状態」を示す *estar* が使われる。従つて、変化動詞としては *ponerse* か *quedarse* が選ばれるはずで、実際そうになっている。ただ、*tranquilo* の場合 *quedarse* を選んだ人が圧倒的に多く、*serio* の場合は逆に *ponerse* の方が多い。勿論、*serio* の場合 *ponerse*⁴¹ と *quedarse* とともに共起できるが、どちらかと言えば *ponerse* との結びつきが強く、*tranquilo* はそれ以上に *quedarse* との結びつきが強いように思える⁴²。あるアンケート回答者(女子学生)が、*serio* については *ponerse* を 1 番目に *quedarse* を 2 番目に選んだので、意味の違いを訊ねると同じだと言ひ、執拗に訊ねると *serio* は *nervioso* 「苛々した、落ち着かない」を連想させ、成句的な *ponerse nervioso* 「いらいらする、緊張する」の影響を受けてしまうし、(27) の「彼は安心した (**Se quedó tranquilo**)」につ

⁴⁰ これは主語などが異なるが、クラウン西和辞典(三省堂, 2005)の *tranquilo* の用例: *Me quedé tranquilo al oír su voz a través del teléfono.* (p.1884) 「私は彼の声を電話で聞いて安心した」でも *quedarse* が使われている。

⁴¹ 阿部(2007b), p.19; 阿部(2011b), p.6

⁴² 阿部(2007a), pp.52 ~ 53; 阿部(2009). 「深刻な表情になる」という意味では、*ponerse* の特徴でもある「色彩的变化」や「外見的・様態的变化」の影響も考えられる。

いては動きの「停止」を連想すると述べている。因みに, *tranquilo* には他に「平静な, 動じない, 平然とした」という意味があり, *Se bebió dos botellas de vino y se quedó tan tranquilo.*⁴³「彼はワインをボトル2本飲み干しても全く動じなかった」のように使われている。この変化動詞には *quieto, callado, sin habla, dormido, impresionado, estático, parado, inmóvil, petrificado, de piedra* 等に見られる動きの「停止・欠如」, あるいは *sordo, mudo, ciego, cegato, tuerto, cojo, manco, paralítico, hemipléjico, parapléjico* などの身体的機能の「停止・欠如」を内包する形容詞が用いられることはこれまでの筆者の調査・研究⁴⁴でもはっきりしている。スペイン語を教える側としては, 似たような意味領域の形容詞を整理して, 辞書や教材に提示すれば学習効果が上がると思う。

ここで, もう一組分かりにくい例を考えてみよう。変化動詞を使って「太る」と「痩せる」を表現する例である。「痩せる」についてはコロケーション辞典⁴⁵でも *ponerse, quedarse, volverse* を挙げ, 例として (28) に似た文: *Se quedó muy delgada* después de la enfermedad. 「彼女は病気をしてから痩せこけた」を載せている。「痩せた, 痩せこけた」の意味領域に属する *enjuto, esmirriado, famélico, flaco, huesudo, reseco, seco, como un espectro, como una oblea, hecho un costal de huesos*⁴⁶ などの語(句)もやはり *quedarse* との結びつきが強い。

(28) Tras la enfermedad () **muy delgado** y todos los pantalones le están grandes.⁴⁷

	2014.3	2014.8	2015.3	2015.8	2016.3	合計
se ha puesto	15(2)	18(1)	23(3)	15(7)	33(8)	104(21)
se ha quedado	59(57)	57(57)	76(74)	82(80)	118(118)	392(386)
se ha vuelto	14(2)	14(1)	16(2)	12(0)	32(7)	88(12)
se ha hecho	7(3)	5(0)	3(2)	2(0)	2(0)	19(5)

⁴³ クラウン西和辞典(三省堂,2005), p.1884

⁴⁴ 阿部(2007b)

⁴⁵ Bosque, I. (2006), p.675

⁴⁶ 阿部(2007b), pp.12-13

⁴⁷ Diccionario para la enseñanza de la lengua española (Vox/Universidad de Alcalá de Henares, 2000), p.355 では **delgado** の用例で, **se ha quedado** を使っている。

一方 *gordo* を使った「太る」場合、コロケーション辞典では *ponerse*, *quedarse* の他に *volverse* を挙げ、(30)の用例⁴⁸で **me he quedado** を使っている。この「太る」、「痩せる」場合その主格補語になる形容詞の *delgado* も *gordo* も繫辞として *ser* と *estar* の両方と共起でき、勿論意味も異なる。例えば *Eres delgado*. と言えば普通に「君は痩せている」だが、*Ahora estás delgado*. だと「君は今は痩せている」ということになる。従って、コンテキストによっては *volverse* も許容される。それにしても(28)の「痩せこけてしまった」では *quedarse* が優勢なのに対して、(29)の「太った」では *ponerse* が好まれるようだ⁴⁹。その上(29)では肌違いの *volverse* を選んだ人が *quedarse* よりも多い。ところが、(30)では同じ「太った」でもここでは *ponerse* よりも *quedarse* を多くの人が選んでいる。

(29) Ricardo era delgado y con ese medicamento () **gordo**. Está gordo.⁵⁰

	2014.3 /	2014.8	2015.3	2015.8	2016.3	合計
se puso	52(48)/	44(40)	60(49)	62(61)	109(102)	275(252)
se quedó	13(3) /	9(2)	13(5)	9(4)	18(7)	49(18)
se volvió	35(14)/	38(18)	39(23)	37(24)	47(25)	161(90)
se hizo	5(0) /	9(1)	6(5)	5(0)	8(1)	28(7)

(30) Después del embarazo () **un poco más gorda**.⁵¹

	2014.8	2015.3	2015.8	2016.3	合計
me he puesto	42(29)	58(30)	54(45)	83(58)	237(162)
me he quedado	48(39)	64(50)	60(49)	90(74)	262(212)
me he vuelto	13(3)	15(2)	3(0)	29(3)	60(8)
me he hecho	4(1)	4(0)	1(1)	3(1)	12(3)

⁴⁸ Bosque, I. (2006), p.675

⁴⁹ 阿部 (2007a), pp.45-48

⁵⁰ Gutiérrez Araus, M. L. (2007), p.113 で、**ponerse** は「偶然の、一時的な、決定的でない変化 (cambios accidentales, pasajeros, no definitivos) を示すと説明した上で、*ser* と共起して「性質 (cualidad)」を表わし、*estar* と共起して状態 (estado)」を表わす形容詞が後続した場合の例として **se puso** を使ってこの用例を提示している。

⁵¹ Diccionario combinatorio práctico del español contemporáneo (Ediciones SM, 2006), p.675 の **gordo** の用例として、**me he quedado** を使っている。

アンケート調査で、例えば (29) では **se puso** を選んだ人にその訳を訊ねても普段みんながそう言っているからで、その理由など考えたことはないという。ただ **se volvió** を選んだ人の中に、薬で「急に」痩せたという意味をこの動詞に委ねたと言う人がいる。また、以前は「痩せていた (*era delgado*)」が、薬で逆に「太った」ということは、**volverse** の場合選択理由としてよく挙げられるように「以前そうではなかった (*no lo era*)」わけで、「ある特性から全く異なる別の特性への変化」に当たると説明する人もいる。確かに、これもよく理解できる。しかし、同じ形容詞でも (30) ではどの調査でも一番多くの人が **me he quedado** を選んでいる。妊娠後「前より少し太った」という単なる状態変化という点では、多くの回答者が **ponerse** も **quedarse** も同じように使えると述べている。「妊娠で太る」というのはごく普通のことであり、いずれまた元に戻る可能性を意識していると考えられる。ただ、この単なる変化の他に **quedarse** の特徴である変化後の「状態継続」が **me he quedado** の選択人数増加に影響していると考えるのが普通である。一方、これらと類義語の **obeso** 「肥満 (症) の、太り過ぎの」はもう少し複雑である。日本語訳からすると「永続的性質」を表わしているように解釈されがちだが、**ser** と **estar** と結びつく。ただ、この例では試しに「永続的性質」を表わす **llegar a ser** も選択肢に加えて見たが、予想通りこれを選ぶ人も結構多かった。

(31) No debes sobrealimentar al bebé porque () **obeso**.⁵²

	2014.8	2015.3	2015.8	2016.3	合計
se pondrá	38(31)	54(43)	46(39)	96(85)	234(198)
se quedará	4(1)	8(0)	5(0)	14(5)	31(6)
se volverá	31(16)	33(13)	32(17)	52(24)	148(70)
se hará	26(13)	25(11)	23(13)	26(14)	100(51)
llegará a ser	28(15)	40(16)	36(22)	32(16)	132(69)

⁵² Diccionario para la enseñanza de la lengua española (Vox/Universidad de Alcalá de Henares, 2000), p.1057 では **sobrealimentar** の用例で **se pondrá** を使っている。

肥満症になるから赤ちゃんには過度の栄養を与えてはいけないということで、**se hará, se volverá, llegará a ser** の選択は理解できるとして、問題は **se quedará** を選んだ人が少ないのに対し **se pondrá** の選択人数が抜きん出ていることである。ponerse は一時的な「その場限りの変化」を示すだけで、その後の継続性は関係ないとすれば、この数値をどう説明したらいいのだろうか。恐らく「太る」場合、成句的に **ponerse gordo** が多用され、**gordo** もその意味領域に属しており、「太る」と言えば **ponerse** を連想すると考えられる。今のところこれぐらいのことしか考えられない。

引き続き、これらの形容詞と同様、肉体的特徴を示す形容詞 **fuerte, débil** の場合を見てみよう。先ず (32) の **débil** は「虚弱体質の」ではなく、文としては「彼は病気をしてからすっかり弱くなった」という意味で、明らかに「体が弱い、衰弱した」の用例である。コロケーション辞典では **débil** の変化動詞として **volverse** と **quedarse** を挙げ、その用例として **Se había quedado muy débil** después de la gripe. を出している。意味的には (1)(2) の **enfermo, malo** と同類と予想していたが、ここでは **Se ha puesto** は少なく、**Se ha quedado** が他を圧倒している。この差は **quedarse** の特徴とされる変化後の「状態継続」の他に、意味的には「痩せる (**quedarse delgado**)」の延長線上にあると考えられる。**débil** の類義語である **canijo, desmadejado, enclenque, flojo, raquítico**⁵³ なども **quedarse** との結びつきが強く、むしろ **ponerse enfermo [malo]** の方が例外的と言える。

(32) () **muy débil** después de su enfermedad.

	2014.3	2015.3	2015.8	2016.3	合計
Se ha puesto	17(2)	32(16)	22(13)	43(11)	114(42)
Se ha quedado	60(59)	68(59)	75(73)	117(112)	320(303)
Se ha vuelto	12(2)	29(6)	9(5)	38(9)	88(22)
Se ha hecho	6(0)	0(0)	2(0)	2(0)	10(0)

⁵³ 阿部 (2007b), p.6 なお, (32) の文はよく使われる表現なので特に出典を明示しない。

次にこの *débil* の反意語である (33)(34) の *fuerte* 「強い, 丈夫な, 逞しい」⁵⁴ はどのように扱われているのか見てみよう。

(33) Juan creció y () **fuerte y robusto**.⁵⁵

	2013.3	2013.8	2015.3	2015.8	2016.3	合計
se puso	35(23)	30(16)	46(29)	41(32)	89(78)	241(178)
se quedó	2(2)	0(0)	5(1)	4(1)	2(1)	13(5)
se hizo	34(31)	48(42)	57(43)	54(45)	63(35)	256(196)
se volvió	27(13)	17(9)	29(6)	38(18)	65(30)	176(76)

(34) Hola, soy un chico de 19 años, me gustaría () **fuerte** pero ahora mismo con la academia no tengo tiempo (ni ganas) de apuntarme a un gimnasio. No estoy gordo ni delgado, pero la carne que tengo está blanda, me gustaría endurecerla.⁵⁶

ponerme 59(59), **quedarme** 5(0),

volverme 9(1), **hacerme** 6(2) (2014.3)

(33) では「フワンは成長して、強く逞しくなった」という意味なので成長していくプロセスが想定でき、**se hizo** の選択が予想される。また、その成長過程の捉え方によっては **se volvió** も納得できる。ただし、人間が主語の場合成句的な *hacerse fuerte* には「意志を固める, 譲らない, 妥協しない」という意味があり、当然その影響もあり得るので **se hizo** を選んだ人が多くなっていると考えられる。それにしても、ここでは **se hizo** と同じぐらい **se puso** が選ばれている。恐らく *fuerte* は繫辞として「一時的状態」を表わす *estar* とも共起し得るからではないかと思われる。つまり *ponerse* には「色彩」などに

⁵⁴ 阿部 (2007a), pp.45 ~ 46

⁵⁵ <http://www.mftd.org/index.php?action=story&id=1583> ではこの文で **se hizo** を使っている。

⁵⁶ <http://es.answers.yahoo.com/question/index?qid=20081108115009AAqKCeZ> では **ponerme fuerte** を使っていた。ある回答者(女性)からは、この文の三行目にある単語 *la carne* 「肉」は *el músculo* 「筋肉」に変えた方がいいとのコメントが寄せられたが、彼女は筋肉付きの肉体美を想像していたようである。2014.3

代表される「表面・外見・態度」を表わす形容詞を従える傾向が見られる。従って, (33) の **se puso** と同様 (34) の **ponerme** の選択は当然である。

(35) Cada vez () **más débil**, y tiene que aprender a aceptar las cosas duras, cuando son duras.⁵⁷

se pone 16(9), **se queda** 25(15),

se vuelve 78(63), **se hace** 47(70) (2016.3)

形容詞 **débil** には「(肉体的に)弱い」という場合と「(精神的に)弱い, 意志薄弱な, 甘い」という場合があり, 後者は所謂「性格・人柄」を表わすもので, 繫辞なら **ser** を使い, 変化動詞なら **volverse** と結びつくことが多いということは, 既に阿部 (2014) でも多くの事例で証明済みである。「性格・人柄」は「一時的状態」ではなく「永続的性質」を表わすので, 言うまでもなく **hacerse** の使用も容認できる。従って (35) での **se hace** の選択も当然である。

なお, 本稿は既に規定枚数を超えているため, 後は次の機会に譲ることにする。この続きは, 4. **ponerse versus volverse** の章で「色」や「天候」の変化を中心に展開するが, これらの変化表現は更に多くの形容詞を巻き込んで意外にもかなり複雑な広がりを見せるものの, その調査結果を提示すれば, 変化動詞の基本的な使い分け・選択基準がもっとよく見えてくると確信している。

参考文献

- 阿部 三男 (2004) 「スペイン語の変化動詞について」, 『スペイン語学論集—寺崎 英樹教授退官記念—』, 14-27. 東京: くろしお出版
- 阿部 三男 (2007a) 「スペイン語の変化動詞 **ponerse** について」, 『専修大学外国語教育論集』 第 35 号 39-56.

⁵⁷ Diccionario de uso del español de América y España (Barcelona: Spes Edotorial, S. L. / Vox), p.575 では **se vuelve** を使っている。

- 阿部 三男 (2007b) 「スペイン語の変化動詞 *quedarse* について」, 『東京スペイン語学研究』第 22 号 1-22.
- 阿部 三男 (2008) 「スペイン語の変化動詞 *hacerse* について」, 『慶応義塾外国語教育研究』第 4 号 51-80.
- 阿部 三男 (2009a) 「再びスペイン語の変化動詞 *ponerse* について」, 『専修大学外国語教育論集』第 37 号 37-53.
- 阿部 三男 (2009b) 「スペイン語の変化動詞 *volverse* について」, 『東京スペイン語学研究』第 24 号 1-27.
- 阿部 三男 (2011a) 「スペイン語の変化動詞の意味的中和」, 『専修大学外国語教育論集』第 39 号 57-75.
- 阿部 三男 (2011b) 「スペイン語の変化動詞 *volverse* と「マイナス・イメージ」の形容詞」, 『東京スペイン語学研究』第 26 号 1-18.
- 阿部 三男 (2014) 「再びスペイン語の変化動詞 *volverse* について」, 『専修大学外国語教育論集』第 42 号 1-31.
- Bosque, I. (2006). *Diccionario combinatorio práctico del español contemporáneo*. Madrid: Ediciones SM.
- Castro Viudez, F. (2012). *USO de la gramática española. Avanzado*. Madrid: Edelsa.
- Eddington, D. (2002). Disambiguating Spanish Change of State Verbs, *Hispania*, 85.4.921-929.
- Gutiérrez Araus, M. L. (2007). *Problemas fundamentales de la gramática del español como 2/L*. Arco/Libros, S.L.
- Moreno, C. (2010). *Temas de Gramática, Nivel Superior*. Madrid: SGEL.
- Moreno, C., Hernández, C., y Kondo, C. M. (2007). *Gramática, Avanzado B2*. Madrid: Anaya
- Navas Luiz, R. (1963). *Ser y estar. Estudios sobre el sistema atributivo del español*. Acta Salmanticensia, Filología y Letras, tomo XVII, núm. 3. Salamanca: Universidad de Salamanca.

Navas Luiz, R. (1977). «Ser» y «estar». *El sistema atributivo del español*. Edición renovada. Salamanca: Almar.

Porroche Ballesteros, M. (1988). *Ser, Estar y Verbos de Cambio*. Madrid: Arco/Libros, S.A.

Tarricone, L., Giol, N., y González-Seara, C. (2012). *Gramática explicada para niveles intermedios con ejercicios + soluciones*. Madrid: enClave-ELE.

訂正

専修大学外国語教育論集第42号(2014)「再びスペイン語の変化動詞 *volverse* について」(阿部三男)の校正段階で見逃してしまった誤りを以下のように訂正します。

1. p.2 の下から1行目と4行目

(誤) socio-económica

(正) socioeconómica

2. p.15 の下から10行目

(誤) condición socio-económica 「社会・経済的状况」

(正) condición socioeconómica 「社会経済的地位」